



年会特集 第2弾 ～ 年会に参加して～

若手研究者の方々から、年会に参加した感想を寄せていただきました。

▶ 第3回エピジェネティクス研究会は、エピジェネティクスの分野を学び始めてまだ日が浅い私にとっては初めての参加でしたが、「3回目」ということから予想できないほどの盛況ぶりでした。口頭発表では質問者がマイクの後ろに列なし、ポスター会場は議論する人々の熱気にあふれ、エピジェネティクスの研究に従事している方々の熱心な姿勢に大変感銘を受けました。

精神疾患ははまだ病因が不明な疾患が多く、特に代表的な精神疾患である統合失調症や双極性障害において、一卵性双生児の一致率が100%でないことから、何らかのエピジェネティクス変化が発症と関連している可能性が考えられています。本研究会での発表の多くは、植物、癌、生殖に関する領域についてでしたが、中には神経系に關与するエピジェネティクス研究についての報告もあり、今後さらに脳神経系から精神疾患へエピジェネティクス研究の領域を広げることで、精神疾患の解明につなげていきたいと思いました。

(理化学研究所脳科学総合センター、
東京女子医科大学神経精神科 菅原 裕子)

▶ 第3回年会も前年同様、非常に活発に議論が交わられていました。演題は個々の制御因子に関する個体レベルでの研究や、疾患・病理に関する内容が増えてきて、分野自体の広がりと共に、様々な研究がエピジェネティクスの視点を取り入れている流れを感じました。一方で現時点では記述的な段階のものが多く、この分野がまだまだ発展していくであろうことが伺えます。また、この日本エピジェネティクス研究会が海外のクロマチン関連の学会と比べて特徴的な点としては、DNAメチル化に焦点を絞った研究発表が非常に多いことではないでしょうか。これは研究会発足までの歩みを反映したものだと思いますが、更にヒストン修飾、クロマチンリモデリングをはじめ、ヌクレオソーム・染色体・核内レベルのダイナミクスといった多様な視点からの解析がバランス良く行われて、個々の事象が相互に作用し合っただけでなく、全体としてどのような制御に繋がるのか、メカニスティックな理解に迫る方向に分野が動いていくのではないかと期待します。

(東京工業大学大学院生命理工学研究科
酒井 晶子)

セミナー・シンポジウム開催のお知らせ

堀場国際会議/疾患生命工学センターシンポジウム

「環境化学物質と疾患解明 分子トキシコロジーの新たな展開」

日時：2009年10月26日～27日

場所：東京大学 鉄門記念講堂（教育研究棟14F）

参加費：講演は無料、懇親会は一般4,000円 学生2,000円

専用ホームページ：<http://env-health.m.u-tokyo.ac.jp/sympo09/>

ポスドク募集

所属 シンガポール Huck Hui Ng 研究室 (Genome Institute of Singapore)
募集対象 Postdoctoral Research Fellow (starting Jan-Mar 2010)
研究内容 Molecular Systems Biology of Stem Cells and Reprogramming
採用条件 Candidates should preferably have experiences in stem cell culture, animal work, molecular & cell biology and biochemistry.
連絡先 E.mail: nghh@gis.a-star.edu.sg
http://www.gis.a-star.edu.sg/internet/site/investigators.php?f=cv&user_id=36

エピジェネティクス関連雑誌の創刊ご紹介 第2弾

Clinical Epigenetics Springer

http://www.springer.com/biomed/human+genetics/journal/13148?cm_mmc=AD-_-Enews-_-BIO11243_V1-_-0

情報を求めています！！

研究員・ポスドク募集および他の研究会のお知らせなど、ニュースレターを利用して公開してみませんか。年会に関するご意見・ご感想もよろしくお願いたします。お近くの広報委員（牛島俊和、梅澤明弘、角谷徹二、古関明彦、佐々木裕之、中島欽一各幹事）に気軽にe-mailください。

日本エピジェネティクス研究会事務局

東京医科歯科大学 医歯学総合研究科
分子腫瘍医学分野内

庶務担当幹事 湯浅保仁

担当：小澤良子

住所：〒113-8519 東京都文京区湯島1-5-45

TEL:03-5803-5184

E-mail: jse.monc@tmd.ac.jp